

遊々の森でボランティア林業を実施

11月16日、当署管内吉無田高原国有林において、食とみどり、水を守る熊本県民会議主催の第19回ボランティア林業が、当署職員12名を含む約80名が参加して開催されました。

食とみどり、水を守る熊本県民会議では、森林の役割や管理の大切さをアピールするとともに、水源涵養の機能向上を目的に体験林業活動を毎年行っており、現地は平成27年度に当署と「未来の源・遊々の森」として協定を締結しています。

当日は秋晴れの中、開会式では主催者挨拶に続いて川畑充郎署長から「ボランティア林業を長年にわたり続けていることに敬意を表するとともに、今後とも継続した活動を期待します」との来賓挨拶を行った後、当署南阿蘇森林事務所の杉中邦浩首席森林官より現地の概要説明、歌野邦美総括治山技術官から作業上の注意事項等について指導しました。

参加者は、当署職員の指導のもと体験林業では間伐したクヌギを玉切りしてシイタケの駒打ち作業に、森林教室では松ぼっくりを利用したクリスマスツリーの作成と火おこし体験にチャレンジするとともに、昼食には絶品の猪汁とおにぎりを食べてまさしく自然の中で食とみどりを満喫する一日となりました。

当署としては、引き続き関係機関等と連携して森林ボランティア活動及び森林環境教育活動を積極的に推進していく考えです。



玉切りの様子



駒打ちの様子



ツリー作成の様子



火おこし体験の様子